第７回議会報告会　レポート

～みんなで考えよう あったらいいね こんな相馬～

第７回目となる今回の議会報告会は、玉野地区・大野地区・磯部地区の３会場で同日開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の５類引き下げに伴い、制限なしでの開催となりました。
「みんなで考えよう　あったらいいね　こんな相馬」というサブタイトルで市民とともに考え、今後の相馬について話し合うことを目的とし、テーマを敢えて設けず、膝と膝を付き合わせるイメージの車座トークを実施いたしました。
このレポートでは、各会場での主な意見、質問を紹介いたします。これらの市民の皆さまの声を議会への提案と捉え、議論を交わし、今後の議会活動に活かしていきたいと考えています。
今回は参加できなかったとの声も届いておりますので、参加者アンケート等も参考に今後も議会報告会開催に向けて工夫してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。　（相馬市議会議員一同）

第１部　令和５年度事業の紹介

第１部は、５月１日発行の議会だより第 147 号で掲載した新年度事業の紹介として、「移住者の住宅取得支援に係る経費」・「都市計画基本図・地形図の作成に係る経費」・「結婚新生活支援に係る助成金」について、報告しました。
事業の詳細については、議会だより第 147 号をご覧ください。　→

市民からの意見

移住者の住宅取得支援に係る経費について

この事業を県外の人にどのように発信・広報するのか？（磯部）

議会コメント

相馬市のホームページで発信・広報しています。また、令和５年２月にそうま移住定住総合窓口を開設し、対面や電話、メールでの相談だけでなく、ZOOM を活用したオンライン相談もできるような体制を整えています。

市民からの意見

都市計画基本図・地形図の作成に係る経費について

この事業はどんな効果をもたらすのか？（玉野）

議会コメント

この内容については、山中宣明議員が一般質問を行っています。12、13 ページの上段に掲載していますのでご覧ください。

市民からの意見

結婚新生活支援に係る助成金について

助成金の対象者に婚姻日の年齢を設定しているのはなぜか？（大野）

議会コメント

この事業は地域少子化対策の国の施策によるものであるため、対象者についても国の規定を基に設定しています。

第２部　車座トーク

空き家問題

市民からの意見

相続人がわからない空き家が多くなって問題になっている。空き家の調査プロジェクト事業が必要ではないか？（大野）

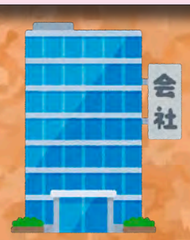
議会コメント

３度の震災を受け、劣化した空き家が危険な状態となっています。
現在、罹災証明書で半壊以上の判定となった建物については公費で解体していますが、所有者が複数であったり、不明な場合などは事業の適応とならず、危険な状態が解消していないことは把握しています。
今後、民間の空き家の諸問題に対して、何かできることはないか議会として研究してまいります。

企業誘致

市民からの意見

若い人が働く場所が必要、優良な企業の誘致をしてほしい！（大野・磯部）



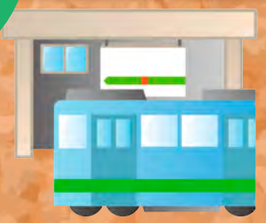
議会コメント

市はこれまでも優良な企業の誘致を進めており、議会としても協力しています。
今後も優良な企業を誘致できるよう尽力してまいります。

ＪＲの利便性向上

市民からの意見

ＪＲの利便性（相馬駅みどりの窓口の再整備・ダイヤ改正・相馬駅東口の設置等）を向上してほしい！（大野）



議会コメント

ＪＲの問題については、議会において、「基幹交通網の整備促進に関する特別委員会」を設置し、調査・研究しています。今後も市民の声を踏まえ、利便性向上に取り組んでまいります。